**子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査（就学前児童）**

**ご協力のお願い**

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、本市では、平成２７年度より「子ども・子育て支援法」に基づく第１期の「前橋市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援のための施策を実施しております。当計画の期間は、平成２７年度から平成３１年度までであり、平成３２年度からは、第２期の計画を策定し、施策を実施することとなります。

そのため、第２期の計画策定に向けて、市民の皆様の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するために、「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査は、平成３０年１０月１日現在住民基本台帳に掲載されている就学前のお子さんを対象に無作為抽出させていただき、ご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成３０年1１月　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　前橋市長　山　本　　　龍

【ご記入にあたってのお願い】

１．特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。

２．アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。

３．ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。

４．選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。1つだけ回答する箇所を複数回答されますと、無回答扱いになりますのでご注意ください。また、**「その他」をお選びいただいた場合**は、その後にある**（　）内に具体的な内容**をご記入ください。

５．数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例： １ ８ 時）でご記入ください。

６．設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ことわり書きや矢印**に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。

７．ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の封筒に入れて、**〇〇月〇〇日（〇）**までに、通園されている施設（幼稚園又は保育所）へご提出ください。（この調査は無記名です。）

**ご回答いただく上でご不明な点や調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。**

**前橋市　福祉部　子育て施設課　施設管理係　電話：027-220-570５**

子育ては地域の課題です

頂いた回答を前橋市の子育て支援の充実に活かします

**building03_cl2.wmf**

**build32.wmf**

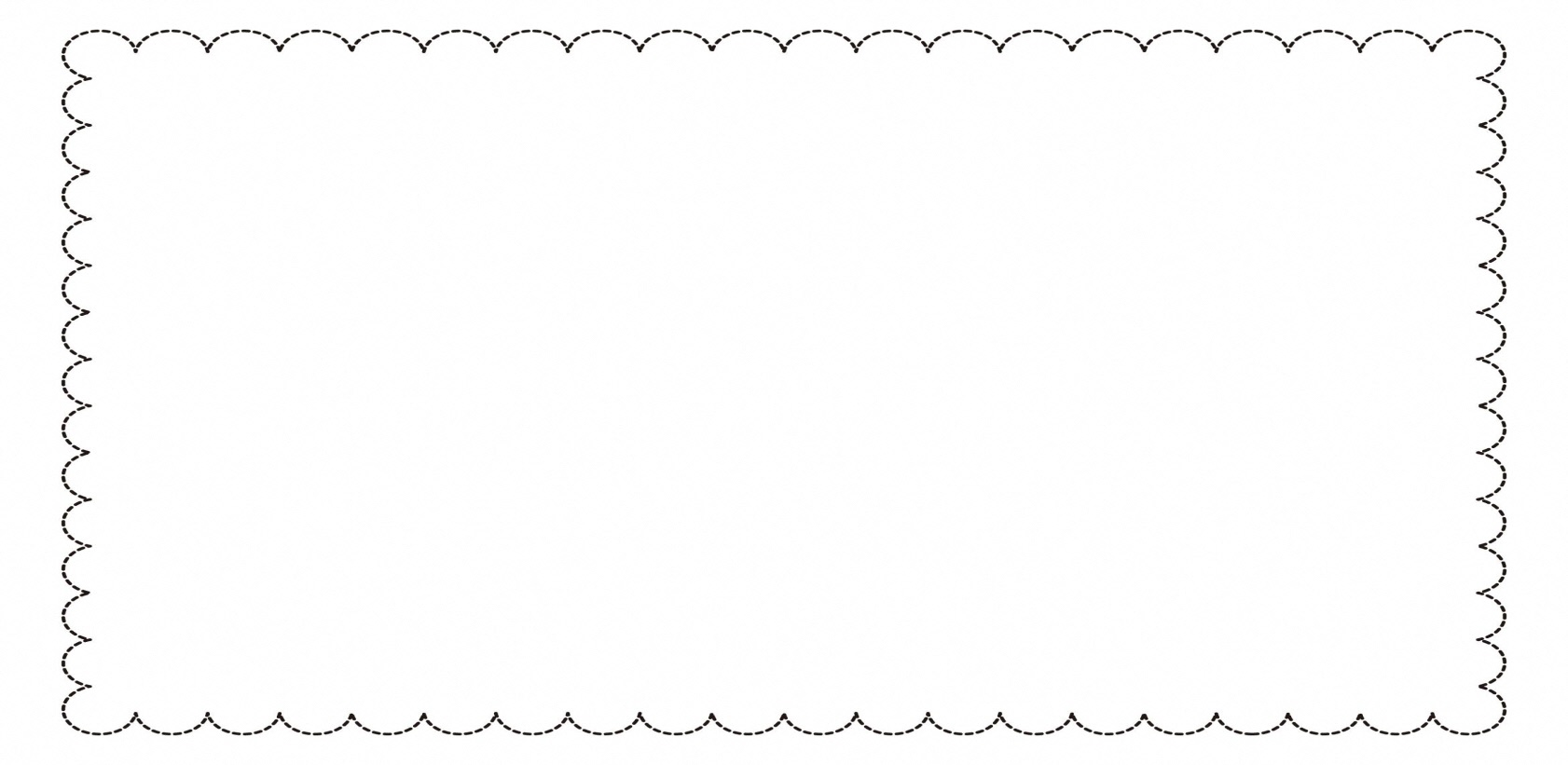
子育て世帯

前橋市子ども・子育て会議

子育てしやすい環境づくりを進めるためのアンケート

幼稚園・保育園・認定こども園

放課後児童クラブ等、地域における子育て支援の充実



（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおり

・**幼　 稚 　園**：学校教育法に定める、３～５歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）

・**保　 育 　所**：児童福祉法に定める、保育を必要とする０～５歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）

・**認定こども園**：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第２条第６項）

・**子　 育 　て**：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

・**教　　　　育**：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

|  |
| --- |
| お住まいの地域についてうかがいます。 |

問1　お住まいの地区として当てはまる答えの番号1 つに○をつけてください。

１．本庁管内　　　　　５．桂萱　　　　　　　９．南橘　　　　　　１３．大胡

２．上川淵　　　　　　６．東　　　　　　　１０．清里　　　　　　１４．宮城

３．下川淵　　　　　　７．元総社　　　　　１１．永明　　　　　　１５．粕川

４．芳賀　　　　　　　８．総社　　　　　　１２．城南　　　　　　１６．富士見

**※本庁管内とは、２～１６の地区に該当しない地区です。**

|  |
| --- |
| 封筒の宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。 |

問2　宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

平成　　　　　　　年　　　　　　　月生まれ

問3　宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数　　　　　　人　　　末子の生年月　平成　　　　　　　年　　　　　　　月生まれ

問4　この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．母親　　　　　　２．父親　　　　　　３．その他（　　　　　　　　　　　）

問5この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．配偶者がいる　　　　　　　　　　　　２．配偶者はいない

問6宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．父母ともに　　２．主に母親　　３．主に父親　　4．主に祖父母　　5．その他（　　　　　　）

|  |
| --- |
| 子育ての育ちをめぐる環境についてうかがいます。 |

問7宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さん

からみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．父母ともに　　 ３．父親　　　　　 ５．幼稚園　　　　　７．認定こども園

２．母親　　 　　　４．祖父母　　　　 ６．保育所　　　　　８．その他（　　　　　　　　　 ）

問8宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてくだ

さい。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．家庭 | ３．幼稚園 | ５．認定こども園 |
| ２．地域 | ４．保育所 | ６．その他（　　　　　　　　） |

問9　宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．日常的に祖父母等の親族にみてもらえる

⇒ 問9-1へ

２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる

３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる

⇒ 問9-2へ

４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる

⇒ 問10へ

５．いずれもいない

問9-1　９で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

２．祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である

３．祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

４．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

５．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

⇒ 問10へ

６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問9-2　問９で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる

２．友人・知人の身体的負担が大きく心配である

３．友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

４．自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい

５．子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問10　宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．いる／ある　　　⇒ 問10-1へ　　　　　　　　２．いない／ない　　⇒ 問11 へ

問10-1　問10で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| １．祖父母等の親族 | ７．幼稚園教諭 |
| ２．友人や知人 | ８．民生委員・児童委員 |
| ３．近所の人 | ９．かかりつけの医師 |
| ４．子育て支援施設（地域子育て支援拠点、  児童館等）・NPO | １０．自治体の子育て関連担当窓口 |
| ５．保健所・保健センター | １１．その他 【例】ベビーシッター |
| ６．保育士 |  |

問11　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

|  |
| --- |
| 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。 |

問12　宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、

産休・育休・介護休業中ではない

２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、

産休・育休・介護休業中である

⇒ 問12（1）-1へ

３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、

産休・育休・介護休業中ではない

４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、

産休・育休・介護休業中である

５．以前は就労していたが、現在は就労していない

⇒ 問12（2）へ

６．これまで就労したことがない

（**1）-1　（１）で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。　１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）**

１週当たり　　　　　日 　　１日当たり　　　　　　　時間

（1）-2　（1）で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。　家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず （例）０８時～１８時のように、２４時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

家を出る時刻　　　　　　　時　　　　　　帰宅時刻　　　　　　　時

（2）父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しており、

育休・介護休業中ではない

２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）で就労しているが、

育休・介護休業中である

⇒ 問12（２）-1へ

３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、

育休・介護休業中ではない

４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、

育休・介護休業中である

５．以前は就労していたが、現在は就労していない

⇒ 問14へ

６．これまで就労したことがない

（2）-1　（2）で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。１週当たりの「就労日数」、　　　　１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

１週当たり　　　　　日 　　　　１日当たり　　　　　　　時間

（2）-2　（2）で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）０８時～１８時のように、２４時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

家を出る時刻　　　　　　　時 　　　　帰宅時刻　　　　　　　　時

問13　問12の（1）または（2）で「3～4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

（１）母親

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある

２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望

４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

（２）父親

１．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある

２．フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない

３．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望

４．パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問14　 問12 の（1）または（2）で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これま

で就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ１つに○をつけ、該当する□内には

数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。

（１）母親

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

２．1 年より先、一番下の子どもが 　　　　歳になったころに就労したい

３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

→希望する就労形態　　　　　 ア．フルタイム （１週５日程度・１日８時間程度の就労）

イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→１週当たり　　　　　　日 　　　　　１日当たり 　　　　　　　時間

（２）父親

１．子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

２．1 年より先、一番下の子どもが　　　　 歳になったころに就労したい

３．すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい

→希望する就労形態　　　　ア．フルタイム （１週５日程度・１日８時間程度の就労）

イ．パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→１週当たり　　　　　日　　　　　１日当たり　　　　　　　　時間

|  |
| --- |
| 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。 |

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15　宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．利用している　　 ⇒　問15-1 へ 　　　　　　２．利用していない 　　⇒　問15-5 へ

問15-1　問15-1～問15-4は、問15で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1．幼稚園  （通常の就園時間の利用） | 7．事業所内保育施設  （企業が主に従業員用に運営する施設） |
| ２．幼稚園の預かり保育  （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） | 8．自治体の認証・認定保育施設  （認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設） |
| ３．認可保育所  （国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの） | 9．その他認可外保育施設 |
| ４．認定こども園  （幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） | 10．居宅訪問型保育  （ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） |
| ５．小規模な保育施設  （国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの） | 11．ファミリー・サポート・センター  （地域住民が子どもを預かる事業） |
| ６．家庭的保育  （保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業） | 12．その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |

問15-2　平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。１週当たり何日、１日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。時間は、必ず（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

**（１）現在**

１週当たり　　　　　日 　　１日当たり　　　　　　時間 （　　　　　　時～　　　　　　時）

**（２）希望**

１週当たり　　　　　日 　　１日当たり　　　　　　時間 （　　　　　　時～　　　　　　時）

問15-3　現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「１.」「２.」のいずれかに○をつけてください 。

1．前橋市内　　　　　　　　　　　　 2．他の市町村

問15-4　平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの教育や発達のため

２．子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している

３．子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である

４．子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している

５．子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある

６．子育て（教育を含む）をしている方が学生である

７．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問15-5　問15で「２．利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない

２．子どもの祖父母や親戚の人がみている

３．近所の人や父母の友人・知人がみている

４．利用したいが、保育・教育の事業に空きがない

５．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない

６．利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない

７．利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない

８．子どもがまだ小さいため（　　　歳くらいになったら利用しようと考えている）

９．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問16　すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

|  |  |
| --- | --- |
| 1．幼稚園  （通常の就園時間の利用） | 7．事業所内保育施設  （企業が主に従業員用に運営する施設） |
| ２．幼稚園の預かり保育  （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） | 8．自治体の認証・認定保育施設  （認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設） |
| ３．認可保育所  （国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの） | 9．その他認可外保育施設 |
| ４．認定こども園  （幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） | 10．居宅訪問型保育  （ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） |
| ５．小規模な保育施設  （国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの） | 11．ファミリー・サポート・センター  （地域住民が子どもを預かる事業） |
| ６．家庭的保育  （保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業） | 12．その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |

問16-1　教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| １．前橋市内 | ２．他の市町村 |

問16-2 問16で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3～12」にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| １．はい | ２．いいえ |

◎　問17、18は「０歳児のお子さん」をお持ちの方にうかがいます。それ以外の方は問19へ。

問17　１歳から必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．はい | ２．いいえ | 3．わからない |

問18 １年を超える育児休業の取得希望はありますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．はい | ２．ない | 3．わからない |
|  |  |  |
| 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。 | | | | |

問19　宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

１．地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

１週当たり　　　　回 もしくは １ヶ月当たり　　　回 程度

２．その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名：　　　　　　　　　　　　　　　　）

１週当たり　　　　回 もしくは １ヶ月当たり　　　回 程度

３．利用していない

問20　問19のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号１つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

１．利用していないが、今後利用したい

１週当たり　　　回 もしくは １ヶ月当たり　　　回 程度

２．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

１週当たり 更に　　　回 もしくは １ヶ月当たり 更に　　　回 程度

３．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問21　下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、Ａ～Ｃのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | Ａ | | Ｂ | | Ｃ | |
| 知っている | | これまでに利用  したことがある | | 今後利用したい | |
| ①母親(父親)学級、両親学級、育児学級 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ②保健センターの情報・相談事業 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ③家庭教育に関する学級・講座 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ④教育相談センター・教育相談室 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑥認定こども園（保育施設と幼稚園が  一体化した施設）の子育て相談 | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |
| ⑦地域子育て支援拠点  （身近な地域における相談や親同士の交流の場：  子育て支援センター等） | はい | いいえ | はい | いいえ | はい | いいえ |

|  |
| --- |
| 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。 |

問22　宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

**（１）土曜日**

１．利用する必要はない

２．ほぼ毎週利用したい　　　　　　　利用したい時間帯

３．月に１～２回は利用したい　　　　　　　　　時から　　　　　時まで

**（２）日曜・祝日**

１．利用する必要はない

２．ほぼ毎週利用したい　　　　　　　利用したい時間帯

３．月に１～２回は利用したい　　　　　　　　　時から　　　　　時まで

問22-1　問22の（１）もしくは（２）で、「3.月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．月に数回仕事が入るため　　　　　　　　　　　　　　　　４．息抜きのため

２．平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため　　　　５．その他（　　　　　　　　　　）

３．親族の介護や手伝いが必要なため

問23　「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

１．利用する必要はない

２．休みの期間中、ほぼ毎日利用したい　　　　利用したい時間帯

３．休みの期間中、週に数日利用したい　　　　　　　　　時から　　　　　時まで

問23-1　問23で、「3.休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．週に数回仕事が入るため　　　　　　　　　　　　　４．息抜きのため

２．買い物等の用事をまとめて済ませるため　　　　　　５．その他（　　　　　　　　　　　　　）

３．親等親族の介護や手伝いが必要なため

|  |
| --- |
| 幼児教育・保育無償化についてうかがいます.。 |

問24　幼児教育や保育が無償化となった場合、以下の事業において主に利用したいと思う事業はどれ

ですか。あてはまる答えの番号１つに○をつけてください。

|  |
| --- |
| 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） |
| 1. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） |
| 1. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの） |
| 1. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） |
| 1. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの） 2. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業） |
| 1. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設） |
| 1. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設） |
| 1. その他認可外の保育施設 2. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業） 3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業） 4. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**幼児教育・保育無償化**・・・消費税が10％に増税となる2019年10月より、0〜2歳児の保育は住民税非課税世帯を対象に無償化、3〜5歳の認可保育園、幼稚園、認定こども園は所得を問わず無償化する予定。認可外施設は、認可保育所の保育料の全国平均額を上限に支援の方向。なお、一時預かりについては、一定の条件により無償化される。

|  |
| --- |
| 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。  （平日の教育・保育を利用する方のみ） |

問25　平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問26にお進みください。この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

１．あった　　　　**⇒**問25-1へ　　　　　　　２．なかった　　　**⇒**　問26へ

問25-1　宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。数字は一枠に一字）。

|  |  |
| --- | --- |
| １年間の対処方法 | 日数 |
| ア.　父親が休んだ | 日 |
| イ.　母親が休んだ | 日 |
| ウ.　（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった | 日 |
| エ.　父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた | 日 |
| オ.　病児・病後児の保育を利用した | 日 |
| カ.　ベビーシッターを利用した | 日 |
| キ.　ファミリー・サポート・センターを利用した | 日 |
| ク.　仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 日 |
| ケ.　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 日 |

※「キ.ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問25-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問25-2　その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

１．できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒　　　　　　　　日 　　　⇒ 問25-3 へ

２．利用したいとは思わない　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　⇒ 問25-4 へ

問25-3　問25-2で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業

２．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業

３．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）

４．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

⇒ 問26へ

⇒ 問25-1でウ～ケを選ばれた方は問25-5へ

問25-4　問25-2で「2.利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| １．病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | ５．利用料がわからない |
| ２．地域の事業の質に不安がある | ６．親が仕事を休んで対応する |
| ３．地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない | ７．その他（　　　　　　　　　　　　　　） |
| ４．利用料がかかる・高い |  |

⇒ 問25へ

問25-1で「ウ．」から｢ケ．｣のいずれかに回答した方にうかがいます。

問25-5　その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号１つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

１．できれば仕事を休んで看たい ⇒　　　　　　　日 　　　⇒ 問26 へ

２．休んで看ることは非常に難しい　　　　　　　　　　　　⇒ 問25-6 へ

問25-6　問25-5「2.休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．子どもの看護を理由に休みがとれない

３．休暇日数が足りないので休めない

２．自営業なので休めない

４．その他（　　　　　　　　　　　　　）

|  |
| --- |
| 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を  伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。 |

問26　宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、１年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。

|  |  |
| --- | --- |
| 利用している事業・日数（年間） | 日数 |
| １．一時預かり  （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業） | 日 |
| ２．幼稚園の預かり保育  （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ） | 日 |
| ３．ファミリー・サポート・センター  （地域住民が子どもを預かる事業） | 日  ⇒ 問27へ |
| ４．夜間養護等事業：トワイライトステイ  （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業） | 日 |
| ５．ベビーシッター | 日 |
| ６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 日 |
| ７．利用していない |  |

問26で「7．利用していない」と回答した方にうかがいます。

問26-1　現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
| １．特に利用する必要がない | ６．利用料がわからない |
| ２．利用したい事業が地域にない | ７．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない |
| ３．地域の事業の質に不安がある | ８．事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| ４．地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・  日数など)がよくない | ９．その他（　　　　　　　　　　　　　　） |
| ５．利用料がかかる・高い |  |

問27　宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一枠一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| １．利用したい | | 計　　　　 日 |
|  | ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 | 日 |
|  | イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等 | 日 |
|  | ウ.不定期の就労 | 日 |
|  | エ.その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 日 |
| ２．利用する必要はない　 ⇒ 問28へ | |  |

問27-1　問27で「1.利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問27 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

１．大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）

２．小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）

３．地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）

４．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問28　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この１年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠一字）。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | １年間の対処方法 | 日数 |
| １．あった | ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった | 泊 |
| イ．短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した  （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業） | 泊 |
| ウ．イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した | 泊 |
| エ．仕方なく子どもを同行させた | 泊 |
| オ．仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 泊 |
| カ．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | 泊 |
| ２．なかった | |  |

問28で「1.あった　ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア.以外を選択した方は問29へ

問28-1　その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号１つに○をつけてくださ**い。**

１．非常に困難　　　　2．どちらかというと困難　　　　3．特に困難ではない

|  |
| --- |
| 宛名のお子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の  放課後の過ごし方についてうかがいます。 |

⇒ ５歳未満の方は、問33 へ

問29　宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください。

（数字は一枠に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

|  |  |
| --- | --- |
| １．自宅 | 週　　　日くらい |
| ２．祖父母宅や友人・知人宅 | 週　　　日くらい |
| ３．習い事  （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週　　　日くらい |
| ４．児童館 | 週　　　日くらい |
| ５．放課後子ども教室（放課後遊び場）（※注） | 週　　　日くらい |
| ６．放課後児童クラブ〔学童保育〕 | 週　　　日くらい  →下校時から　　　　　時まで |
| ７．ファミリー・サポート・センター | 週　　　日くらい |
| ８．その他（公民館、公園など） | 週 　　 日くらい |

※注：「放課後遊び場」･･･地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。（**前橋市では「放課後遊び場」という名称で実施しています。**）

問30　宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内数字でご記入ください。時間は、必ず（例）１８時のように２４時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

※だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

|  |  |
| --- | --- |
| １．自宅 | 週　　　日くらい |
| ２．祖父母宅や友人・知人宅 | 週　　　日くらい |
| ３．習い事  （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週　　　日くらい |
| ４．児童館 | 週　　　日くらい |
| ５．放課後子ども教室（放課後遊び場）（※注） | 週　　　日くらい |
| ６．放課後児童クラブ〔学童保育〕 | 週　　　日くらい  →下校時から　　　　　時まで |
| ７．ファミリー・サポート・センター | 週　　　日くらい |
| ８．その他（公民館、公園など） | 週　　　日くらい |

※注：「放課後遊び場」･･･地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。（**前橋市では「放課後遊び場」という名称で実施しています。**）

問31　問29または問30で「６．放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

**（1）土曜日**

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい　　　　　　利用したい時間帯

２．高学年（４～６年生）になっても利用したい　　　　　　　　　　時から　　　　　時まで

３．利用する必要はない

**（2）日曜・祝日**

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい　　　　　　利用したい時間帯

２．高学年（４～６年生）になっても利用したい　　　　　　　　　　時から　　　　　時まで

３．利用する必要はない

問32　宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号１つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい　　　　　　利用したい時間帯

２．高学年（４～６年生）になっても利用したい　　　　　　　　　　時から　　　　　時まで

３．利用する必要はない

|  |
| --- |
| すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など  職場の両立支援制度についてうかがいます。 |

問33　宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由の番号をすべてご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| **母親（いずれかに○）** | **父親（いずれかに○）** |
| １．働いていなかった  ２．取得した（取得中である）  ３．取得していない  **⇒**  **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） | １．働いていなかった  ２．取得した（取得中である）  ３．取得していない  **⇒**  **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） |

１．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった

２．仕事が忙しかった

３．（産休後に）仕事に早く復帰したかった

４．仕事に戻るのが難しそうだった

５．昇給・昇格などが遅れそうだった

６．収入減となり、経済的に苦しくなる

７．保育所（園）などに預けることができた

８．配偶者が育児休業制度を利用した

９．配偶者が無職、祖父母等の親族にもてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった

10．子育てや家事に専念するため退職した

11．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）

12．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった

13．育児休業を取得できることを知らなかった

14．産前産後の休暇（産前６週間、産後８週間）を取得できることを知らず、退職した

15．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問33-1　子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は１歳６ヶ月、更新により最大2歳まで）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。**

１．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた

２．育児休業給付のみ知っていた

３．保険料免除のみ知っていた

４．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問33で「2．取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問34へ

**問33-2　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号１つに○をつけてください。**

　（1）母親

１．育児休業取得後、職場に復帰した

２．現在も育児休業中である

３．育児休業中に離職した

　（2）父親

１．育児休業取得後、職場に復帰した

２．現在も育児休業中である

３．育児休業中に離職した

問33-2で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問33-3　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか１つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

　（1）母親

1．年度初めの入所に合わせたタイミングだった　　　　　２．それ以外だった

　（2）父親

1．年度初めの入所に合わせたタイミングだった　　　　　２．それ以外だった

問33-4　育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□ 内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

（1）母親

|  |  |
| --- | --- |
| 実際の取得期間　　　　　歳　　　　　ヶ月 | 希望　　　　　　歳　　　　　ヶ月 |

（2）父親

|  |  |
| --- | --- |
| 実際の取得期間　　　　　歳　　　　　ヶ月 | 希望　　　　　　歳　　　　　ヶ月 |

問33-5　お勤め先に、育児のために３歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

　（1）母親

|  |
| --- |
| 歳　　　　　　ヶ月 |

　（2）父親

|  |
| --- |
| 歳　　　　　　ヶ月 |

問33-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問33-6　希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

（1）「希望」より早く復帰した方　　　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

　①母親

|  |  |
| --- | --- |
| １．希望する保育所に入るため | ４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| ２．配偶者や家族の希望があったため | ５．その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ３．経済的な理由で早く復帰する必要があった |  |

　②父親

|  |  |
| --- | --- |
| １．希望する保育所に入るため | ４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| ２．配偶者や家族の希望があったため | ５．その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ３．経済的な理由で早く復帰する必要があった |  |

（2）「希望」より遅く復帰した方　　　※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

　①母親

|  |  |
| --- | --- |
| 1．希望する保育所に入れなかったため | ４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| ２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | ５．子どもをみてくれる人がいなかったため |
| ３．配偶者や家族の希望があったため | ６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |

　②父親

|  |  |
| --- | --- |
| 1．希望する保育所に入れなかったため | ４．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| ２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | ５．子どもをみてくれる人がいなかったため |
| ３．配偶者や家族の希望があったため | ６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |

問33-2で「1． 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問33-7　育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

　（1）母親

|  |
| --- |
| １．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| ２．利用した |
| ３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

　（2）父親

|  |
| --- |
| １．利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| ２．利用した |
| ３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

問33-7で「３．利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問33-8　短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

**（1）母親**

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった

２．仕事が忙しかった

３．短時間勤務にすると給与が減額される

４．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる

５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した

６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた

７．子育てや家事に専念するため退職した

８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）

９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった

１０．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**（2）父親**

１．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった

２．仕事が忙しかった

３．短時間勤務にすると給与が減額される

４．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる

５．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した

６．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた

７．子育てや家事に専念するため退職した

８．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）

９．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった

１０．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問33-2で「2．現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問33-9　宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。

**（1）母親**

１．１歳になるまで育児休業を取得したい　　　　　2．１歳になる前に復帰したい

**（2）父親**

１．１歳になるまで育児休業を取得したい　　　　　2．１歳になる前に復帰したい

◎　以下は、すべての方にうかがいます。

問34　お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に１つに○をつけてください。

|  |
| --- |
| 満足度が低い　　　　　　　　　　　　　　　　　　満足度が高い  １　　　　　２　　　　　３　　　　　４　　　　　５ |

問35　最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。**

**同封の封筒に入れて、通園されている施設（幼稚園、又は保育所）へ**

**ご提出ください。**